

日本視覚学会 2016年夏季大会プログラム

期 日：2016年8月17日(水)～19日(金)

場 所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号

(<http://c-faculty.chuo-u.ac.jp/~vsj2016/>)

会場はJR新潟駅万代口よりバスで約15分(佐渡汽船行,「朱鷺メッセ」停下車), タクシーで約5分, 徒歩では約20分です。新潟空港からは空港リムジンバス(新潟駅南口行き)でJR新潟駅までご移動頂いた後, 上記の経路でお越し頂くか, あるいは空港からタクシー(約20分)で直接お越し下さい。

主 催：日本視覚学会

- ・一般講演(口頭発表)は発表時間10分, 質疑5分の計15分です。
- ・一般講演で使用するPCはご自身でご用意ください。D-sub プラグと接続できない方は変換アダプタをご自身でご用意ください。講演者は発表セッションの前に使用機材のご確認をお願いいたします。
- ・機材不備(PC再起動など)による遅れは発表時間と見なされます。
- ・ポスター発表の会場は, 「中会議室(201)」です。
- ・発表用のパネルの大きさは, 幅120cm, 高さ210cmです。取り付け用のピンは会場に用意されます。貼付と撤去は各セッションの開始前・終了直後に行ってください。
- ・ポスター発表の在籍責任時間は, 奇数番号は前半の60分, 偶数番号は後半の60分とします。
- ・使用言語は, 日本語または英語です。

	8/17(水)	8/18(木)	8/19(金)
9:30		ポスター掲示	
10:00	ポスター掲示	10:00-11:00 セッション4 (一般講演)	10:00-11:00 セッション8 (一般講演)
10:30	10:55-開会		
11:00	11:00-12:00 セッション1 (一般講演)	(休憩)	(休憩)
11:30		11:10-12:10 セッション5 (一般講演)	11:10-12:10 セッション9 (特別講演) Deubel先生
12:00			12:10 総会・閉会
12:30			
13:00	13:00-15:00 セッション2 (ポスターセッション)	13:00-15:00 セッション6 (ポスターセッション)	
13:30			
14:00			
14:30			
15:00	15:00-17:00 セッション3 (大会企画シンポジウム) 「顔認知の個人差と文化差」	15:00-16:00 セッション7 (特別講演) Bremner先生	
15:30			
16:00		16:00-世話人会	
16:30			
17:00	ポスター撤収 17:00-幹事会	ポスター撤収	
17:30			
18:00			

1日目 (2016年8月17日水曜日)

- 10:55- 開会 実行委員長：山口真美 (中央大学文学部)
- 11:00-12:00 セッション1 (一般講演)
- 1o01 擬視追従視の検証～視知覚信号処理工学の礎～
木村英司 (千葉大学文学部)
吹抜敬彦 (イメトピア研究室)
- 1o02 固視微動 (ドリフト, トレモア) の視覚に与える役割
田中靖人¹, 藤江博幸², 七五三木 聡³
(神経数理学研究所視覚部門¹, 株式会社三城R&D², 大阪大学医学研究科³)
- 1o03 連続フラッシュ抑制に対する刺激提示眼の効果
清水 求¹, 木村英司² (千葉大学大学院融合科学研究科¹, 千葉大学文学部²)
- 1o04 視覚探索課題施行中のサッケード特性
仲泊 聡¹, 宮内 哲², 小川景子³, 高橋あおい⁴, 古田 歩⁵
(理化学研究所多細胞システム形成研究センター¹, 情報通信研究機構²,
広島大学大学院総合科学研究科³, 東京女子大学⁴, 前田眼科⁵)
- 12:00-13:00 昼休み
- 13:00-15:00 セッション2 (ポスターセッション)
- 1p01 注意による視運動性眼振の影響における空間的非対称性
金成 慧¹, 金子寛彦¹, 阪本清美²
(東京工業大学工学院情報通信系¹, パナソニック株式会社²)
- 1p02 運動刺激への追従眼球運動による視野闘争時の知覚状態の安定化
高瀬慎二¹, 行松慎二², 鬘櫛一夫²
(名古屋柳城短期大学保育科¹, 中京大学心理学部²)
- 1p03 連続的な瞳孔変動に対する瞳孔の模倣現象
前田悠貴, 金成 慧, 金子寛彦 (東京工業大学工学院情報通信系)
- 1p04 ジター錯視観察時および固視微動様の揺れ刺激の観察時における時間過大視
村上郁也¹, 青木竣祐², 川野晟聖², 寺尾将彦^{1,3}
(東京大学大学院人文社会系研究科¹, 東京大学文学部², 山口大学時間学研究所³)
- 1p05 2次運動刺激の視野内・視野間提示による古典的仮現運動知覚
金谷英俊¹, 佐藤隆夫² (愛知淑徳大学人間情報学部¹, 立命館大学総合心理学部²)
- 1p06 運動により知覚的奥行きが分離された刺激間の垂直視差統合処理特性
宮西雄太, 金子寛彦 (東京工業大学工学院情報通信系)
- 1p07 明滅刺激による知覚時間の延長は輝度に選択性をもたない
吉松弘志¹, 村井祐基^{2,3}, 四本裕子²
(東京大学教養学部¹, 東京大学大学院総合文化研究科², 日本学術振興会³)
- 1p08 時間長知覚における脳梁の役割：脳梁無形成の症例研究からの検討
四本裕子¹, 岡島未来¹, 二村明德², 本間元康², 河村 満²
(東京大学大学院総合文化研究科¹, 昭和大学医学部神経内科²)

- 1p09 複数要素の平均的な持続時間の知覚の検討
小林美沙¹, 辻田匡葵¹, 高野勇典², 一川 誠¹
(千葉大学文学部¹, 千葉大学大学院人文社会科学研究所²)
- 1p10 Peripheral visual distractors lead to no bias in supra-second temporal estimation
Yao Qirui, 光藤宏行 (九州大学大学院人間環境学府)
- 1p11 アイシャドーによる視線方向知覚の変位
戴 子堯¹, 北岡明佳² (立命館大学文学研究科¹, 立命館大学総合心理学部²)
- 1p12 視線判断における眼球方位と顔向き手がかり統合の線形性の検証
大塚由美子¹, Mareschal Isabelle², Clifford Colin³
(愛媛大学法文学部¹, Queen Mary University of London, The University of Sydney², UNSW Australia³)
- 1p13 視線手がかり効果の随意的制御可能性の検討
高尾沙希¹, 有賀敦紀²
(立正大学大学院心理学研究科¹, 広島大学大学院総合科学研究科²)
- 1p14 顔らしさ処理における瞳孔径応答
二瓶裕司, 南 哲人, 中内茂樹 (豊橋技術科学大学情報・知能工学専攻)
- 1p15 低解像度顔刺激の表情認知における顔色の役割
中古賀 理, 二瓶裕司, 中内茂樹, 南 哲人
(豊橋技術科学大学情報・知能工学系)
- 1p16 顔モーフ刺激が定常状態視覚誘発電位に与える影響
竹林優樹¹, 南 哲人², 中内茂樹³
(豊橋技術科学大学大学院情報・知能工学専攻¹, 豊橋技術科学大学大学院エレクトロニクス先端融合研究所², 豊橋技術科学大学大学院情報・知能工学系³)
- 1p17 錯視的輪郭による視覚誘導性自己運動知覚の増強
中村信次 (日本福祉大学全学教育センター)
- 1p18 運動刺激の連続性がバクシオン強度に与える影響
藤井芳孝¹, 妹尾武治^{1,2} (九州大学大学院芸術工学研究院¹, 九州大学高等研究院²)
- 1p19 自身の行動による物体の運動速度知覚への影響
門野泰長, 金子寛彦 (東京工業大学工学院情報通信系)
- 1p20 身体方向と視覚からの重力方向情報が接近物体の運動知覚に与える影響
三輪拓馬, 金子寛彦 (東京工業大学工学院情報通信系)
- 1p21 手指の biological motion 刺激への視覚探索
田島大輔^{1,2}, 葭田貴子³
(東京工業大学大学院理工学研究科¹, 日本学術振興会², 東京工業大学工学院³)
- 15:00-17:00 セッション3 (大会企画シンポジウム「顔認知の個人差と文化差」)
山口真美 (中央大学文学部)・渡邊克巳 (早稲田大学理工学術院)
顔と声による感情認知の文化差
田中章浩 (東京女子大学現代教養学部)

表情認知の文化差—(・▽・)は笑顔か?—

高橋康介 (中京大学心理学部)

顔アイデンティティ認識の個人差と平均特性

松吉大輔 (早稲田大学理工学術院)

顔魅力知覚の普遍性と個人差—顔魅力の知覚メカニズムを探る—

中村航洋 (慶應義塾大学大学院社会学研究科)

17:00- 幹事会

2日目 (2016年8月18日木曜日)

10:00-11:00 セッション4 (一般講演)

四本裕子 (東京大学大学院総合文化研究科)

2o01 曲線の検出に關与する空間的特徴の検討

森田磨里絵¹, 佐藤隆夫²

(立命館大学大学院文学研究科¹, 立命館大学総合心理学部²)

2o02 時間長符号化の最適化—中心化傾向の感覚モダリティ依存性—

村井祐基^{1,2}, 四本裕子¹

(東京大学大学院総合文化研究科¹, 日本学術振興会²)

2o03 あくび顔に対する乳児の選好と脳活動の検討

鶴見周摩¹, 金沢 創², 山口真美¹

(中央大学文学部¹, 日本女子大学人間社会学部²)

2o04 周期的に変動する知覚時間

島 周平¹, 村井祐基^{1,2}, 湯淺健一^{2,3}, 橋本侑樹^{2,4}, 四本裕子¹

(東京大学大学院総合文化研究科¹, 日本学術振興会²,

情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター³, 東京大学大学院学際情報学府⁴)

11:00-11:10 休憩

11:10-12:10 セッション5 (一般講演)

栗木一郎 (東北大学大学院情報科学研究科・東北大学電気通信研究所)

2o05 色運動順応後の輝度運動に対する逆方向選択性の運動残効

任 薇静¹, 栗木一郎^{1,2}, 松宮一道^{1,2}, 塩入 論^{1,2}

(東北大学大学院情報科学研究科¹, 東北大学電気通信研究所²)

2o06 Motion Silencing 錯視における時空間フリッカー検出モデルの検討

服部実香, 蘆田 宏 (京都大学大学院文学研究科)

2o07 脳活動の共分散構造解析を用いたユニーク色情報の生起部位に関する検討

前村和貴子¹, 栗木一郎^{1,2}, 松宮一道^{1,2}, 塩入 論^{1,2}

(東北大学大学院情報科学研究科¹, 東北大学電気通信研究所²)

2o08 運動視の同化と対比における個人差とその神経メカニズム

竹内龍人^{1,2}, 吉本早苗^{2,3}, 近藤洋史²

(日本女子大学人間社会学部¹, NTTコミュニケーション科学基礎研究所²,

中京大学心理学部³)

12:10-13:00 昼休み

- 13:00-15:00 セッション6 (ポスターセッション)
- 2p01 色度勾配がグレア刺激によるまぶしさ感に与える影響
花田光彦 (公立ほこだて未来大学)
- 2p02 拡散性照明と指向性照明下における物体の色の見え評価
野崎 航, 溝上陽子, 矢口博久 (千葉大学大学院融合科学研究科)
- 2p03 2色覚サルの優れた黄青色弁別能力
鯉田孝和^{1,2}, Widayati Kanthi Arum³, 田中孝治², 三上章允⁴
(豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合研究所¹,
豊橋技術科学大学情報・知能工学系²,
Department of Biology, Bogor Agricultural University, Bogor, Indonesia³,
中部学院大学看護リハビリテーション学部⁴)
- 2p04 照明光の分光分布が物体の質感に与える影響
吉住亮祐, 山川昌彦, 岡嶋克典 (横浜国立大学大学院)
- 2p05 短時間提示された輝度分布の弁別に寄与する輝度統計量の検討
高野勇典¹, 木村英司²
(千葉大学大学院人文社会科学研究所¹, 千葉大学文学部²)
- 2p06 構成要素の分割・継時呈示による逆 Müller-Lyer 錯視
金子歩駒, 白井 述 (新潟大学人文学部人文学科)
- 2p07 画像の大きさが3次元形状知覚に与える影響
張 伊, 光藤宏行 (九州大学大学院人間環境学府)
- 2p08 配置全体の大きさによって要素の見かけの大きさが変動する
上地泰一郎¹, 一川 誠²
(千葉大学大学院人文社会科学研究所¹, 千葉大学文学部²)
- 2p09 乳児を対象とした影の視覚探索
佐藤夏月^{1,2}, 金沢 創³, 山口真美⁴
(中央大学大学院文学研究科¹, 日本学術振興会², 日本女子大学³, 中央大学⁴)
- 2p10 空間的注意の焦点移動における上下視野間の異方性
三好正剛 (千葉大学人文社会科学研究所)
- 2p11 輪郭をマスクすることで生じる中心視野テクスチャの周辺視野への充填
田谷修一郎 (慶應義塾大学法学部)
- 2p12 デジタル数字のクラウディング効果における局所性と全体性
林 大輔¹, 大西まどか², 山上精次³
(東京大学大学院人文社会系研究科¹, 東京女子大学大学院人間科学研究科²,
専修大学人間科学部³)
- 2p13 ターゲットと異なる形状およびコントラスト極性のフランカーによるクラウディング効果
草野 勉 (神奈川大学人間科学部, 神奈川大学マルチモーダル研究所)
- 2p14 乳児における両眼間抑制の発達
楊 嘉楽^{1,2}, 金沢 創³, 山口真美⁴
(東京大学大学院総合文化研究科¹, 日本学術振興会²,
日本女子大学人間社会学部³, 中央大学文学部⁴)

- 2p15 音声言語の視聴覚統合における脳内機構の発達の検討
氏家悠太¹, 山口真美² (中央大学研究開発機構¹, 中央大学文学部²)
- 2p16 3次元数量過大推定現象における刺激提示範囲の効果
松田勇祐¹, 相田紗織², 下野孝一¹
(東京海洋大学学術研究院流通情報工学部門¹,
東京工科大学コンピュータサイエンス学部²)
- 2p17 3次元数量過大推定現象における面の重なるの効果
相田紗織¹, 松田勇祐², 下野孝一²
(東京工科大学コンピュータサイエンス学部¹,
東京海洋大学学術研究院流通情報工学部門²)
- 2p18 注視点ギャップによるドライバーディストラクションの評価可能性
山中仁寛 (甲南大学知能情報学部)
- 2p19 図領域を統合する細胞集団が協働する注意選択の計算モデル
我妻伸彦 (東京電機大学)
- 2p20 RGBを原色とする減法混色の並置混色のアルゴリズムとその応用
北岡明佳 (立命館大学総合心理学部)
- 2p21 視聴覚刺激の時間的同期と較正
蘆田 宏 (京都大学大学院文学研究科)
- 2p22 Web ブラウザ上での視覚実験の較正
細川研知¹, 丸谷和史², 西田真也¹
(NTTコミュニケーション科学基礎研究所¹, NTT先端技術総合研究所²)
- 15:00-16:00 セッション7 (特別講演)
山口真美 (中央大学文学部)・楊 嘉樂 (東京大学大学院総合文化研究科)
Visual-tactile perception in the first year of life: The developmental origins of body representations and embodied perception of the environment
Andrew J. Bremner
(Department of Psychology, Goldsmiths University of London, U.K.)
- 16:00- 世話人会

3日目 (2016年8月19日金曜日)

- 10:00-11:00 セッション8 (一般講演)
櫻井研三 (東北学院大学教養学部心理学研究室)
- 3o01 歩行時に提示される視覚刺激が筋活動と知覚する自己運動速度に及ぼす影響
佐藤僚馬, 横山 翔, 棚橋重仁 (新潟大学大学院自然科学研究科)
- 3o02 枠組みが2次元画像の奥行き感に及ぼす影響
下野孝一¹, 東山篤規², 木原 健³, Ono Hiroshi⁴
(東京海洋大学学術研究院流通工学部門¹, 立命館大学文学部²,
鹿児島大学大学院理工学研究科³, ヨーク大学心理学科⁴)

- 3o03 共通運動をともなう運動視差刺激で知覚される奥行反転
 櫻井研三¹, 古川詩穂里², Beaudot William³, Ono Hiroshi⁴
 (東北学院大学教養学部心理学研究室¹, 東北学院大学大学院人間情報学研究科²,
 Kyber Vision Japan³, CVR, York University⁴)
- 3o04 Global solution of the motion aperture problem
 西田真也¹, Andy Rider², Alan Johnston³
 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所¹,
 University College London², University of Nottingham³)
- 11:00-11:10 休憩
- 11:10-12:10 セッション9 (特別講演)
 塩入 諭 (東北大学大学院情報科学研究科, 東北大学電気通信研究所)
 Attentional landscapes for the preparation of eye movements, manual reaching and
 grasping
 Heiner Deubel
 (Department of Psychology, Ludwig-Maximilians-Universität München, Germany)
- 12:10- 総会・ベストプレゼンテーション賞表彰式・閉会